

福島12市町村における 文化・スポーツの現状と将来像



平成27年5月27日

福島県文化スポーツ局長 篠木 敏明

第6回 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会

12市町村における伝統芸能の状況

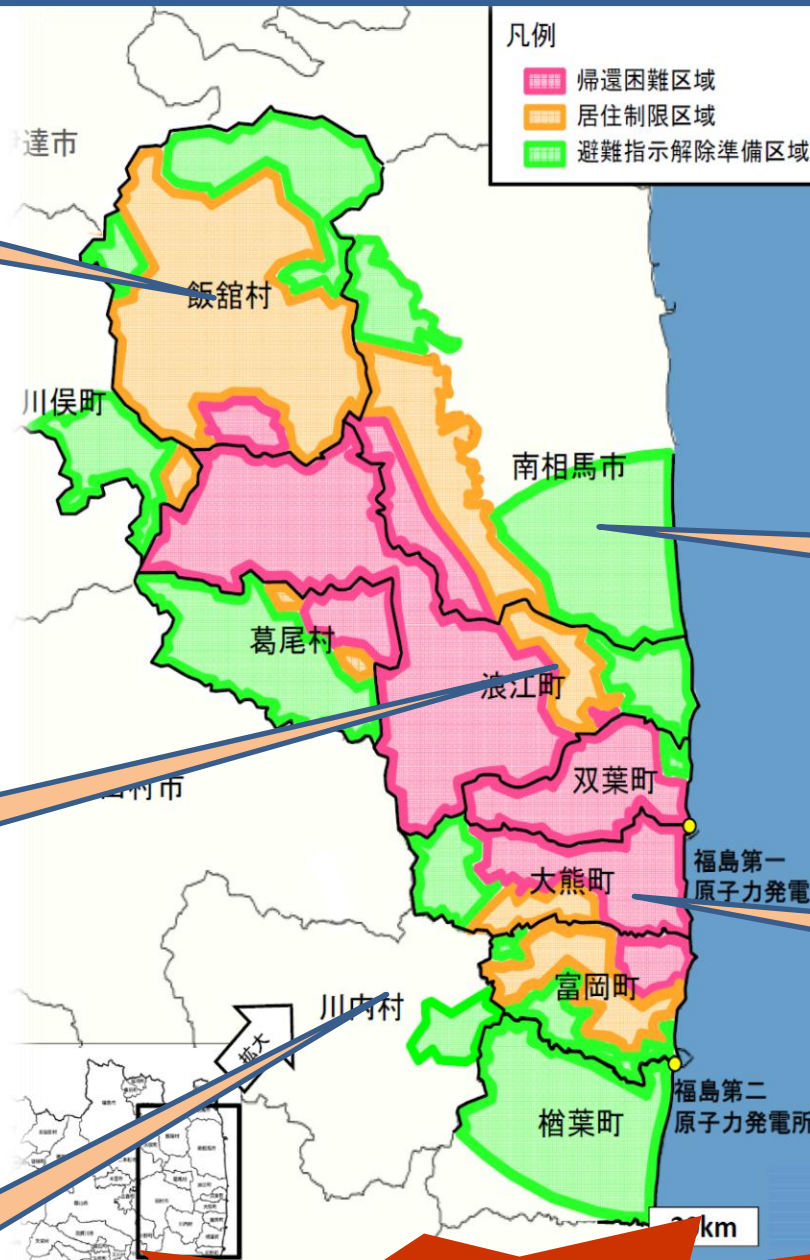


ひそのさんびきししまい
比曽の三匹獅子舞（飯舘村）
避難生活を送り練習時間の確保が難しい中、**復活**イベント等に積極的に参加。



うけどのたうえおどり
請戸の田植踊（浪江町）
全国からの支援を受け平成23年8月**復活**。

さんびきししまい
三匹獅子舞（川内村）
子供たちが踊り手の獅子舞で、村外避難により存続が危ぶまれたものの**復活**、例大祭での奉納を継続



凡例

- 帰還困難区域
- 居住制限区域
- 避難指示解除準備区域

地域の伝統芸能は、
人々の心のよりどころ、
地域の絆を強めるもの

復興への
大きな力



きたかいはまでんぐまい
北萱浜天狗舞（南相馬市）
甚大な被害を受けたが、道具の整備等を図り平成26年1月念願の**復活**。



くまがわちごししまい
熊川稚児鹿舞（大熊町）
避難先で毎月集まって練習を行い、平成26年7月に震災後初めて避難先の会津若松市で披露を行い**復活**。

浜通りの約350団体のうち、
約6割は継承の危機！

多様な文化振興の取組

「ふるさとの祭り」

震災等により継承の危機にある伝統芸能に「祭り」の場を提供することにより、継承の意欲を高め、地域の伝統芸能や人々の絆の再生を図る。



平成27度は
「南相馬市」
で開催

伝統芸能復興サポート事業(新規)

伝統芸能の復活・継承に向けて、総合的な支援を行い、今後の発展に向けた基盤整備を図る。

民俗芸能の継承を支援するNPO法人 設立

専門家 派遣

- ・団体の個別訪問・地区説明会（支援制度の案内、助言）
- ・伝統芸能サポーターの育成

団体間の 交流・連携 の促進

- ・活動継続の事例を共有
- ・団体間ネットワークの形成支援

公演支援

- ・復興公営住宅や集会所等での披露機会の創出

中高生によるミュージカル創作・公演プロジェクト(新規)

○県内の中学生・高校生が、プロの劇作家・音楽家等の支援を得ながら、ミュージカルを創作・公演する。

○震災後の子どもたちが抱える想いを取り入れた創作活動を通して「ふくしまのいま」を国内外へ発信する。

- 講 師【監修】平田オリザ氏
【音楽】大友良英氏
【演出】藤田貴大氏
【映像】高見沢功氏



大友コース（音楽）

ワークショップ 練習風景

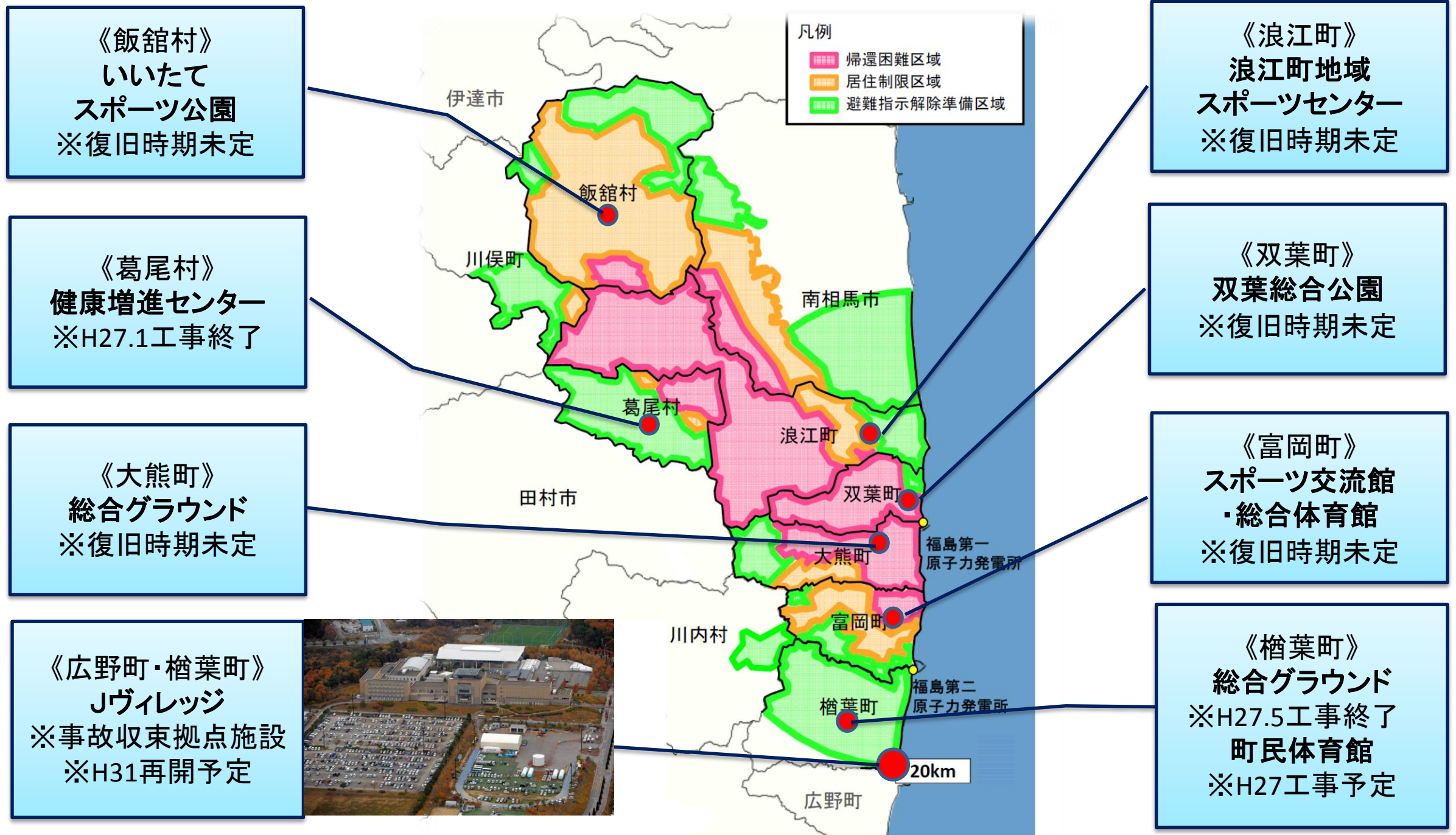


藤田コース（演劇）



高見沢コース（映像）

12市町村の主なスポーツ施設の状況



2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

競技力の向上

○ 「ふくしま夢アスリート」育成支援事業

- ・将来の活躍が期待される15～20歳の青少年を「ふくしま夢アスリート」として指定。
- ・中央競技団体主催の講習会への参加などの指導支援、医科学的支援



○ 「陸上王国福島」パワーアップ事業

- ・本県から日本一の陸上選手の誕生を目指し指導

オリンピック関連事業の推進

○ 事前キャンプ地の誘致

- ・県内の競技施設や宿泊施設を紹介する県独自のホームページやガイドブックを作成しPR

○ 本県における聖火リレーの実施

○ スポーツボランティアの育成

等



Jヴィレッジの再整備

○ 2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに、「新生Jヴィレッジ」として再生

○ 双葉地域の復興の姿を国内外に発信

- ・平成30(2018)年夏に一部営業再開
- ・平成31(2019)年4月全面営業再開



再整備後の姿(全天候型サッカー練習場イメージ)

JOC・東京都等との連携

○ オリンピックデー・フェスタ

- ・オリンピック選手との交流、スポーツ教室
- ・平成27年度本県開催予定地
: 伊達市、南相馬市、川内村、川俣町、福島市



○ 未来への道1000km縦断リレー(青森県から東京都へ)

- ・ルート: 宮城県より～相馬市～南相馬市～福島市～郡山市～いわき市～茨城県へ



双葉地区教育構想の推進

基本目標： 真の国際人として社会をリードする人材の育成

**富岡高校と双葉郡内4中学校
との中高一貫教育**

富岡高校は地元中学校と連携し、避難先で活動を継続

- ・バドミントン：猪苗代町
- ・ゴルフ：福島市
- ・サッカー：静岡県、福島市



《県の取組》

- 専任コーチを招へい（ゴルフ・バドミントン）
- JFAアカデミー福島の選手との交流

H27年度から、県立「ふたば未来学園高校」が開校

《主な実績》

《バドミントン》

- 個人 桃田 賢斗（ナショナルA代表、富岡高校卒）
大堀 彩（ナショナルB代表、富岡高校卒）
川上紗恵奈（ナショナルB代表、富岡高校3年）
・2015.5 ニュージーランドオープン優勝
- 団体 富岡高校
・インターハイ 男子優勝2回、女子優勝2回
※2014男女団体同時優勝はインターハイ史上初
猪苗代中（富岡一中）
・全中 男子優勝4回、女子優勝5回
※2013男女同時優勝

《ゴルフ》

- 女子プロゴルファー2名誕生

《サッカー》

- JFAアカデミー福島 日本代表選出
・FIFA U-17女子ワールドカップ2014コスタリカ大会
優勝メンバー 4名選出
・FIFA 女子ワールドカップ 2015カナダ大会 2名選出



【まとめ】12市町村の将来に向けて

文化

- 指導者不足の解消
- 新たな担い手の育成
- 披露する場・集まる場の確保
- 支援の輪の拡充
- 子どもたちのチャレンジの場を創出

- 伝統芸能の復活
- 地域の絆の再生
- こころの復興
- 次世代への文化の継承
- 子どもたちが夢と希望を持てる環境の確立

アーカイブ拠点施設の整備

- イノベーション・コースト構想において、国際産学連携拠点の一つとして位置づけ
- 現在、県において有識者会議を設置し、施設の具体的な機能や内容等を検討し、国へ提案予定
- 「地域コミュニティの再生」や「文化・伝統の再生」も基本理念に

スポーツ

- 運動不足解消
- 地域スポーツ環境の整備
- 競技力向上体制の整備
- スポーツ交流の推進
- スポーツムーブメントの展開

- 基本的生活習慣の形成
- 誰もがスポーツを楽しめる機会の確保
- 国際的アスリートの輩出
- 地域の活性化、交流人口の拡大
- オリンピックレガシーの継承

東京オリンピック・パラリンピック

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックは本県にとっては復興を後押しする大きなチャンス
- 復興五輪にふさわしい被災地の復興に資する文化、スポーツ振興などの関連事業を積極的に実施

- ◎地域の民俗芸能を始めとする伝統文化の継承と様々な文化・芸術の振興
- ◎一人ひとりが豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」

文化・スポーツは、多くの人々に
勇気や元気、感動を伝える力があ
り、復興の原動力になる！

文化・スポーツの振興を通して地域の活性化へ